



S.Suzuki

サマースプリントシリーズ

## THE IBIS SUMMER DASH

## 第25回 アイビスサマーダッシュ (GIII)

1着	2着	3着	4着	5着
本賞 41,000,000円	16,000,000円	10,000,000円	6,200,000円	4,100,000円
付加賞 630,000円	180,000円	90,000円		

レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

3歳以上、除外未出走馬および未勝利馬

負担重量 3歳55kg、4歳以上57kg、牝馬2kg増、2024.7.27以降G I競走(牝馬限定競走を除く)1着馬3kg増、  
牝馬限定G I競走またはG II競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2kg増、牝馬限定G II競走またはG III競走(牝  
馬限定競走を除く)1着馬1kg増、2024.7.26以前のG I競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2kg増、牝馬限定  
G I競走またはG II競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1kg増(ただし2歳時の成績を除く)

2025.8.3 新潟 晴・良 芝1000m (国際 特指)



順位	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム	コナー	上り	馬体重	単勝	オッズ	調教師	レーティング
							(着差)	通過順位 (600m)	(増減)					
1	⑥	ピューロマジック	牝	4	55	カルメーレ	53.7	11	31.3	446( - )	4.6②	安田翔伍(栗東)	104	
2	⑬	ティエムスパーク	牝	6	56	藤原誠人	クビ	1	32.1	502(+ 6)	3.7①	小椋研介(栗東)	105	
3	⑩	ウイングレイテスト	牡	8	58	松岡正海	%	7	31.7	500(+ 4)	24.5⑩	畠山吉宏(美浦)	107	
4	⑯	カルロヴェローチェ	駆	5	57	丸山元気	%	2	32.2	500( - 4)	8.0④	須貝尚介(栗東)	103	
5	⑰	デュガ	駆	6	57	江田照男	ハナ	7	31.8	492(+ 2)	33.2①	森 秀行(栗東)	101	
6	⑯	モズメイマイ	牝	5	56	高杉史郎	アマ	5	32.0	472(± 0)	4.9③	前川恭子(栗東)	102	
7	⑦	ショウナンハクラク	牡	6	57	三浦皇成	1/4	15	31.4	478(+ 6)	90.5⑩	松下武士(栗東)	108	
8	⑫	ファロロジー	牝	6	55	吉田 豊	%	12	31.8	472(+ 2)	274.0⑧	中嶋英二(美浦)	109	
9	⑯	フーケアロス	牡	5	57	菅原明良	クビ	15	31.5	448(± 0)	13.1⑥	清水英克(美浦)	105	
10	②	ニシノコニャック	牡	6	57	菊沢一樹	1/4	13	31.9	450( - 8)	64.2②	伊藤大士(美浦)	106	
11	⑤	クムシラコ	牡	7	57	杉原誠人	クビ	14	31.8	470(+ 2)	24.1⑨	千葉直人(美浦)	104	
12	③	カフジトレラゴン	牝	6	55	戸崎圭太	%	5	32.6	464(± 0)	20.4⑦	武 英智(栗東)	107	
13	①	スコピオン	牡	4	57	武藤 雅	1/4	17	31.8	478(+ 2)	143.6⑨	武藤善則(美浦)	106	
14	④	シロン	牝	6	55	国分恭介	%	2	33.1	524( - 2)	144.2⑩	小栗 実(栗東)	108	
15	⑪	エランティス	牝	5	55	加藤祥太	%	2	33.2	494(+ 2)	70.2⑩	杉山晴紀(栗東)	109	
16	⑧	コラソンビート	牝	4	55	津村明秀	クビ	10	32.8	454(+ 2)	10.1⑤	加藤土津八(美浦)	105	
17	⑨	ニシントキメキ	牝	5	55	今村聖奈	1/4	7	33.1	490(+ 2)	23.6⑧	小手川洋(美浦)	107	
18	⑯	キタノブレイド	牡	6	57	小林脩斗	5	17	33.1	472( - 6)	244.2⑦	萱野浩二(美浦)	106	

単勝(6460円(2%)\* 複勝(6200円(3%)\* ⑬150円(1%)\* ⑩440円(8%)\* 枝連(3)-⑦780円(3%)\*)

馬連(6-⑬1,200円(2%)\* ワイド(6-⑬520円(2%)\* ⑥-⑩1,670円(22%)\* ⑩-⑩1,310円(16%)\*)

馬単(6-⑬2,330円(5%)\* 3連複(6-⑩-⑬7,110円(19%)\* 3連単(6-⑬-⑩-25,830円(56%)\*)

5重勝(2①⑩⑤⑥5,446,900円(94票) 対象競走: 中京6R／新潟6R／札幌11R／中京7R／新潟7R

通過タイム: 600m 800m  
上り: 32.0 - 42.6

上り: 800m 600m

上り: 42.0 - 32.0

## アラカルト

- ・ C.ルメール騎手はアイビスサマーダッシュ初勝利。JRA重賞は本年6勝目、通算165勝目
- ・ 安田翔伍調教師はアイビスサマーダッシュ初勝利。JRA重賞は本年3勝目、通算15勝目
- ・ アジアエクスプレス産駒はJRA重賞通算3勝目
- ・ 4歳馬の勝利は24年モズメイマイに続く通算8回目
- ・ 牝馬の勝利は20年ジョーカナチャンル以降6年連続、通算18回目
- ・ 芝1000mのレース初出走の馬の勝利は24年モズメイマイに続く通算9回目
- ・ 非抽選馬 3頭(オリメンディ、シュラフ、マジカルガール)

# ピューロマジック *Puro Magic*

牝 鹿毛 2021.2.18生  
北海道新冠町 村田牧場生産  
馬主・㈱スリーエイチレーシング 栗東・安田翔伍厩舎  
馬名意味・聖なる、純粹な(西) + 可能にすること

カスバースカイゴールドCAN系 F20

アジアエクスプレスUSA Asia Express 栗毛 2011	Henny Hughes 栗毛 2003	Hennessy Meadow Flyer
	Running Bobcats 鹿毛 2002	Running Stag Backatem
	ディープインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘAIRE
メジェルダ 鹿毛 2013	メリュージュ 鹿毛 2006	フレンチデビュティUSA メジェール

5代までのインブリード: Storm Cat S 4 × M5 Deputy Minister M4 × S 5  
Hold Your Peace S 5 × M5

## INTERVIEW

村田康彰 専務(村田牧場)

### 陣営の努力が結果につながりました

昨年の春までは天性のスピードで成績を残してきましたが、陣営からは今後を見据えて抑える競馬を覚えさせたいと聞いていました。その努力がこの結果につながったのだと思います。次の目標はスプリンターズSだと思いますが、いまのピューロマジックなら昨年(8着)とは違う結果を出してくれることでしょう。無事を願うと同時に、楽しみにもしています。



K.Miura

非凡なスピードを持つ本馬は3歳時の昨年、逃げの戦法で葵S、北九州記念を連勝。その後は逃げて馬群に呑み込まれるレースを重ねたが、意識的に抑える競馬を試みられたドバイのアルクオーツスプリント(直線競馬)では、落鉄や不利を乗り越えて5着に追い込み、脚質転換のメドを立てた。天性のスピードを差し脚として爆発させ、レコードタイで勝ち切ったこの日の走りは、今後への期待を大きく膨らませるもの。新潟の長い直線をさらなる飛躍への“滑走路”としたい。

### 父アジアエクスプレスUSA

中央、地方12戦4勝(朝日杯フューチュリティS G1、レバードS G3、スプリングS G2着、アンタレスS G3着、名古屋大賞典JpnII 2着)、最優秀2歳牡馬、17年から供用

〔代表産駒〕ピューロマジック(本馬)、ドンインザムード(レバードS G3)、ソロユニット(エーデルワイス賞JpnIII)、ワールドタキオン(福島民友C・L)、ブレイクフォース(B S N賞・L)、ムエックス(さきたま杯JpnI 2着)、ドンアミティエイ(函館スプリントS G3 3着)、エンテレケイア(東京スプリントJpnIII 3着)、キタノエクスプレス(北九州短距離S 0P)、メディーヴァル(後出)

### 母メジェルダ

北海道新冠町 村田牧場生産 中央11戦1勝(ファンタジーS G3 2着)  
メディーヴァル(18 牝父アジアエクスプレスUSA)中央36戦4勝(韋駄天S 0P)、障害1戦0勝

バグラダス(20 牝父マジエスティックウォリアーUSA)中央18戦4勝(タイキシャトルC) (廻)

ピューロマジック 本馬(21 牝父アジアエクスプレスUSA)中央13戦5勝(アイビスサマーダッシュG1、北九州記念G3、葵S G3、マーガレットS・L 2着)、首1戦0勝 獲得総賞金152,040,000円

メロディーロード(22 牝父ミスタークロディUSA)中央2戦0勝  
(24 牝父レイディオロ)  
(25 牝父サートゥルナーリア)

※19(前年種付せず)、23(流産)

### 祖母メリュージュ

北海道新冠町 村田牧場生産 中央3勝。22年用途変更

メリオール(12 牝父キングカメハメハ)地方0勝、メルテッドハニー(マーガレットS・L 2着)、タイセイブリオ(江戸川S、知多特別)の母

メジェルダ(13 前出)

ストレルカ(16 牝父ヘニーヒューズUSA)中央1勝

### 曾祖母メジェール

北海道新冠町 村田牧場生産 中央5勝(天王山特別、白鳥大橋特別)、10年死亡  
メリュージュ(06 前出)

クロワラモ(07 牝父スペシャルウイーク)中央3勝(宇治川特別)

### 母の父ディープインパクト

北海道早来産 中央、仏12勝(ジャパンC G1、三冠、有馬記念G1、宝塚記念G1)  
〔BMS代表産駒〕キセキ(菊花賞G1、父ルーラーシップ)

従来の開幕週から夏開催の2週目に移設されたアイビスサマーダッシュには、モズメイメイ、ウイングレイテス、ティエムスパーク、昨年の1月に3着馬が揃って参戦。なかでも5月に同舞台の韋駄天Sを完勝した後、ここに照準を定めていたティエムスパークが1番人気の支持を集めた。しかしその前に立ちはだかったのは対抗候補と目されていたピューロマジック。コートナーのない直線競馬で新境地を開拓した4歳牝馬が重賞3勝目を挙げた。

レースを先導したのは外枠からの意欲的に飛び出したティエムスパーク。楽しさ手応えで外ラチ沿いのポジションを確保したカルロヴェローチェが途中

対して内枠の枠(3枠6番)を引いたピューロマジックのC・ルメール騎手は、無理に外へは持ち出さず、集団の路を切り替え、追撃にかかった。

“最内”にあたる馬場の真ん中付近を追走。他馬を壁にして脚を溜め、残り400m地点を過ぎてから、馬場の真ん中に開いた広いスペースを突いてスパートをかける。カルロヴェローチェを突き放したティエムスパークも押し切りまであと一歩と迫ったものの、ピューロマジックはこれを凌駕する末脚を發揮。クビ差の接戦を制し、鮮やかな差し切りを決めた。

鮮やかな差し切りを決め重賞3勝目